

## 2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	化粧品化学 I	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日・時限	水曜 2・3・4限
教員	熊谷 亮宏						

**【到達目標】**

美容師国家試験の課目である化粧品化学が美容師として必要であることを理解し  
国家試験合格出題傾向の高い重要ポイントを中心に整理し、基礎的知識への理解を深める

**【授業の学習内容】**

美容業における化粧品化学の重要性の確認、基礎的な知識を習得する授業を行う。  
授業の前半は講義形式、後半は演習形式で進めていく。全員が問題を解けるようになるために、周りと協力しながら演習に取り組んでください。

**【教員実務経験】**

本校1期生から美容師国家試験の筆記分野を15年間担当

	日程	授業形態	授業計画・内容	小テスト・定期試験
1	1回目	講義	美容業で使用する化粧品と医薬部外品の違いについて理解する	小テスト3点
2	2回目	講義	健康な毛髪や皮膚を維持するために欠かせない水分・油分について、原料の種類や特性を理解する	小テスト3点
3	3回目	講義	美容業で使用する多くの化粧品に配合された界面活性剤について、種類や特性を理解する	小テスト3点
4	4回目	講義	視覚的变化を与えるために欠かせない原料である着色料について、種類や特性を理解する	小テスト3点
5	5回目	講義	嗅覚的变化を与えるために欠かせない原料である香料について、種類や特性を理解する	小テスト3点
6	6回目	講義	化粧品化学前半の重要ポイントを整理する	
7	7回目	試験	中間試験(終了後に解説)	中間試験20点
8	8回目	講義	化粧品の品質保持に用いられる成分について、種類や特性を理解する	小テスト2点
9	9回目	講義	基礎化粧品のうち清浄作用を目的とした『石けん』について、種類や製造方法、特性を理解する	小テスト2点
10	10回目	講義	基礎化粧品のうち整肌作用を目的とした『化粧水・クリーム』について、種類や特性を理解する	小テスト3点
11	11回目	講義	美容業で最も使用する機会の多い『シャンプー剤』について、種類や特性を理解する	小テスト3点
12	12回目	講義	パーマやカラーで利用される『酸化・還元反応』について理解する	小テスト3点
13	13回目	講義	前回学習した内容をふまえて、パーマントウェーブの原理や使用する薬剤、手順を理解する	小テスト2点
14	14回目	講義	化粧品化学中盤の重要ポイントを整理する	
15	15回目	試験	定期試験(終了後に解説)	定期試験50点

**準備学習  
時間外学習**

準備: 特にありません。  
時間外学習: 自主性を重んじているため、授業外における学習はお任せします。  
(授業欠席時の内容は必ず確認しておくこと)

**評価方法**

●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度)  
◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる)  
◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、  
実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価

**受講生への  
メッセージ**

勉強が苦手でも構いません。  
ただし、国家試験に合格したいという気持ちを常に持ち続け、そのためにできることは何かを意識しながら、ベルでの2年間を楽しんでください。

**【使用教科書・教材・参考書】**

- ・『化粧品化学』(日本理容美容教育センター)
- ・教科書のポイントをまとめた教材を、適時用意します